

雪国の強い味方

耐雪性と 保温抜群

木造農業用ハウス「G-NEXUS FRAME」

開発
北誠商事 信州大

住宅などの建築を手がける長野県飯山市の(株)北誠商事(高柳博社長)は、信州大学と共同で、積雪1.5mにも耐えられる木造農業用ハウス「G-NEXUS FRAME」を開発した。耐雪性だけでなく保温効果も高く、暖房費を抑えられるため、雪国の農業の強い味方となりそうだ。

パイプハウス同様に組むのが簡単 雪割りで雪が落ち柱間には断熱材

「パイプハウスを普段使 属で固定していく。う農家でも、簡単に組める 屋根の上に雪が積もらな設計にした」と高柳社長は説明する。

木造ハウスは従来のパイプハウスとほぼ同じ構造だ。柱はパイプの代わりに、間伐材を何枚も重ねて接着した合板を使っている。くぎを使わずに木を組み合わせ、接続部分をU字型の金

今年2月の大雪で同市では1.5mの積雪があったが、ハウスは倒壊しなかった。柱が沈むのを防ぐために、それぞれの柱の下には30度角のコンクリートブロックを埋めている。地面に埋まっている部分も含め防水加工を施し、木が腐るのを防いでいる。地面から外気が入らないように柱の間

暖房なくても室温最高30度に 夏はビニールたたみ栽培可能

ハウスの中に冷気が伝わりにくく地熱が逃げ出さないため、室温は暖房がなくても最高30度前後まで上がる。信州大学農学部が同市で行ったイチゴの実証栽培では、ほとんど加温しなくても、1月には収穫できる

「イチゴ以外にもミカンやトマトの栽培にも挑戦している」と高柳社長



木造農業用ハウス。屋根の上に見えるのが雪割り

戦略的

水田農業

第6部

米輸出 ②

アパレル企業の香港駐在員だった出口友洋さん(39)は、

「リッカジャパン」

と日本食文化の啓発で徐々に拡大。Webかメールで受注後に精米し、新鮮な状態で配送するシステムを確立した。香港での足場固めにめどが通じていたが、取扱量が徐々に増え、17年の輸出量は千石近く

玄米を現地精米し鮮度で勝負

飯山市の最高気温は4度だったが、午前11時の室温は12度だった



問い合わせは同社本社が受け付ける(02669・62・3344)。

情報BOX

ロータリー型搾乳ロボットが全自動化



みなちからとホシアオ

多収、

新品種

2012年の平均玄米収栽培で10%増と「ホシアオ」%、「ヒノヒ

農研 業研究 のほど、 料用米 新品種「みなちから」を成した。